

日本光学会新ロゴマークが決定

日本光学会幹事長 伊東 一良 (大阪大学)

広報幹事 麻生 修 (古河電気工業(株))

去る2007年12月13日の幹事会承認により、正式に日本光学会の新ロゴマークが決定しました。会誌「光学」1号を皮切りに、今後は漸次新ロゴマークへの移行を図ってまいります。

1. 経緯

今回のロゴマーク改定は、2006年7月の日本光学会平成18年度第1回常任幹事会での審議を受けて開始され、2007年6月から専門のデザイナーとの打ち合わせを行ってまいりました。改定にあたり本会から提出しましたロゴコンセプトは、以下の通りでした。

(1) 光学は、着実な発展性と、新しさや大きな可能性を秘めた、非常に魅力的な学問分野、産業分野である。

(2) 日本光学会は、光学の分野において、アジアを中心として世界をリードすることを目指してゆく。

これらのコンセプトを元に、最初に候補9案を作成いただき、これらを10月の幹事投票で最終候補3案に絞り込みました。最終的には12月7日締切の会員投票で1案に絞り込まれ、12月13日に幹事会で承認が得られ正式に決定いたしました。

2. 意義

今回選ばれましたロゴマークは、光の粒(光子)の中にOSJをあしらったものであり、傾いた円は成長を表しております。本会より提案しましたコンセプトが見事に表象化されたものと満足しております。現在日本光学会としては、会員の満足度、活動のレベルを高め、会員が自然に増えるような魅力的な存在になるために、あらゆる部分の改革を進めています。また、国際的な学術の発展に寄与する国際的に魅力的な存在であることも必要であると考えています。今後はこのような改革のシンボルとして、新ロゴマークを活用してまいります。

3. 使い方

新しいロゴマークを使用する方は、日本光学会事務(osj@vesta.ocn.ne.jp)まで、使用目的、使用形態を明記の上お申し込みください。ロゴマークと使用上のガイドラインを送付いたします。ガイドラインは使用上の注意を記したものであり、原則としてこのガイドラインを遵守してご使用ください。なお、使用に際して不明な点やお困りの点がある場合には、広報幹事までご連絡ください。



新ロゴマーク